

測量成果電子納品に関する調査研究作業

| | | | |
|----------|----------|-------|--|
| 実施期間 | 平成 19 年度 | | |
| 企画部測量指導課 | 井上 武久 | 田村 孝 | |
| | 佐藤 敏朗 | 田中 博幸 | |

1. はじめに

国土交通省では、CALS/EC（公共事業支援統合情報システム）の一環として直轄事業における成果品の電子納品を 2001 年度より開始している。電子納品に必要となる要領（案）については、1998 年度から順次整備を進めており、2001 年度～2003 年度の三箇年の第一次建設情報標準化推進計画（以下、「第一次計画」という。）では、産学官の委員から構成される「建設情報標準化委員会」（委員長：中村英夫 武蔵工業大学教授）のもと、「成果品電子化検討小委員会」（小委員長：島崎敏一 日本大学教授）において検討を行ってきた。

第一次計画の成果と課題を踏まえて、2004 年度～2006 年度に第二次建設情報標準化推進三箇年計画（以下、「第二次計画」という。）が引き続き進められ測量成果の電子納品については「成果品電子化検討小委員会」（2001 年度～2003 年度）「電子成果高度利用検討小委員会」（2004 年度～2006 年度）のもと「測量成果電子納品検討ワーキンググループ（座長：清水英範東京大学教授）」（以下、「測量WG」という。）を設置し、測量成果の電子納品に関する検討が進められ「測量成果電子納品要領（案）平成 16 年 6 月」（以下、「要領（案）」という。）及び「電子納品運用ガイドライン（案）【測量編】平成 18 年 9 月」（以下、「ガイドライン（案）」という）として策定・発表されている。

本作業では、フォローアップとして 2008 年 4 月に予定される国土交通省公共測量作業規程の改正に対応した要領（案）の改定に関する検討を行った。

2. 研究内容

調査研究の内容は、以下のとおりである。

（1）測量成果電子納品検討 WG の運営

「測量成果電子納品要領（案）」の検討と審議を行うため、「測量成果電子納品検討 WG」の下に、検討課題別に「電子納品要領検討サブワーキンググループ（SWG）」、「DM/CAD 連携サブ・ワーキンググループ（SWG）」を組織し具体的な検討を実施した。

（2）測量成果電子納品要領（案）等の検討及び改定案作成

公共測量作業規程改正に伴い、改正内容に対応した要領（案）等の検討及び改定案を作成した。主なポイントは以下の通りである。

- ① 成果等の名称の変更
- ② 地理情報標準プロファイル（JPGIS）への対応
- ③ 電子納品対象成果、ファイル命名の変更
- ④ その他の応用測量成果の追加
- ⑤ 管理項目の改定及び新規制定
- ⑥ ドキュメント管理項目の新規制定

(3) 測量成果とCADとの連携に関する検討

設計や施工段階における測量成果の利活用促進を目的とし、応用測量成果において SXF 形式で受け渡しする場合の仕様（レイヤ構成，線種，線幅等）及び運用基準等の検討を実施。

3. 得られた主な成果

公共測量作業規程に対応した測量成果電子納品に関する「要領（案）」及び「ガイドライン(案)」の検討及び改正案の作成。

4. 結論

本研究作業では上記の成果を得ることができ、公共測量成果の電子納品の一層の推進が図られることが期待される。また、引き続き以下の課題について検討する必要がある。

- ・測量成果電子納品要領（案）等のフォローアップ
- ・測量成果の利活用検討
- ・電子的手段による検符及び押印方法の検討